

福祉

No.55

2019.8

いみず



5月15日に行われた災害協定の調印式の様子（詳しくはP.9）

お問合せはこちらまで【ご意見・ご感想などございましたら、ぜひお寄せください。】



社会福祉法人 射水市社会福祉協議会

〒939-0274 射水市小島700番地1
◆総務課 ☎52-5010

E-mail : honsho@imizushakyo.jp
ホームページ : <http://www.imizushakyo.jp/>

この広報誌は、一部共同募金の助成を受けています。

モバイル版は
こちら！



バーコードリーダーで
読み取りアクセス！

進学したいけど
家の事を考えたら
言い出せない...

我が家にそんな
余裕はない

ご存知ですか？

生活福祉資金貸付制度

教育支援資金

社会福祉協議会では、「資金の貸付」と「必要な相談支援」を行うことで、世帯の経済的自立を図り、安定した生活を送れるようにするため、生活福祉資金貸付制度を実施しています。

この貸付制度は、単なる金銭の貸付だけではなく、借入相談から申込み、貸付け、償還中において、民生委員の相談支援や自立相談支援事業等による支援を前提としています。

- 高等学校、大学または高等専門学校に就学するために必要な経費
- 高等学校、大学または高等専門学校への入学に際し必要な経費

貸付対象

低所得者世帯（所得制限あり）に属する世帯

相談内容

母（要介護5）が施設に入所していたが、手術のため入院となった。退院後は、在宅で介護する予定。長男、次男も教育ローンでそれぞれ進学し、自分たちで返済している。長女の専門学校進学が決まったが、母の手術・入院費と重なり、進学費用に困っている。

福祉さん一家 家族構成

相談者福祉さん自営業・妻・長男・次男・長女・母の6人家族



相談から貸付につながった福祉さん一家



初回の相談は、福祉さんのみでしたが、後日、進学する長女、民生委員と顔を合わせる機会をつくり、困りごとを共有し、貸付から償還まで、見守りや必要な相談支援を行うことができました。



その他の貸付資金

総合支援資金

失業等、日常生活に困難を抱えており、生活の立て直しのために継続的な相談支援（就労支援、家計指導等）と生活費および一時的な資金を必要とし、貸付けを行うことにより自立がみこまれる世帯への必要な経費

福祉資金

日常生活を送る上で、または自立生活のために、一時的に必要であると見込まれる経費

貸付対象

低所得世帯

資金の貸付にあわせて必要な支援を受けることにより独立自立できると認められる世帯であり、独立自立に必要な資金の融通を他から受けることが困難である世帯（所得制限あり）

障害者世帯

身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方の属する世帯

高齢者世帯

日常生活上療養または介護を要する65歳以上の高齢者の属する世帯（所得制限あり）

※他の公的給付や、公的な貸付けを受けることが可能な場合は、他制度優先となります。

※債務の返済資金に充当する場合はお貸しできません。
貸付は富山県社会福祉協議会にて審査を行い、決定します。

問合せ先

地域福祉課 ☎52-5190 / 新湊支所 ☎82-8450



社会福祉協議会では相談内容に応じて窓口を設置しています。

ひとりで悩まず
一度ご相談ください

相談無料

秘密厳守

日常生活の心配ごと、悩みごとの相談 (心配ごと相談)

開設時間 午後1時30分～午後4時
相談員 民生委員・児童委員

開設場所	開設日				問合せ先
	8月	9月	10月	11月	
新湊交流会館	1日	5日	3日	7日	新湊支所 ☎82-8450
		19日	17日	21日	
大島社会福祉センター	6日	3日	1日	5日	地域福祉課 ☎52-5190
		20日	17日	19日	

仕事や生活に困っている方の相談 (自立支援相談)

時間 月～金曜日（年末年始、祝日を除く）
午前9時～午後5時
場所 大島社会福祉センター
問合せ先 射水市生活自立サポートセンター
（地域福祉課内）☎52-7080

民生委員とは？

民生委員は、社会福祉の増進のため、自らも地域の一員として、担当地区の子育てや介護をはじめとする生活上の心配事や様々な相談に応じ、専門機関との連携を図っています。
生活福祉資金貸付制度においては、次の役割があります。

- ① 制度の広報・周知
- ② 課題を抱えた住民に対して制度の利用に関する情報提供、助言
- ③ 資金借入れにあたっての調査意見書作成等
- ④ 借受世帯の生活状況の把握・相談支援

このほかにも民生委員は地域で様々な活動を行っています。P8では日頃の活動を紹介しています。

◆地区社会福祉協議会とは？

略して「地区社協」とよばれ、市内には27の地区社協が組織されています。地域の「困ったなあ」をご近所パワーや地域の力でできることはないかを考え助け合いをしています。



▲ 三世代で楽しむ「もちつき大会」



▲ 「ハートみなみ」の皆さん

地区社協からひとこと

地域振興会や関係団体と連携を密にして、お互いに支え合い、住み慣れた地域で自立して暮らせる地域づくりを目指していきます。

【会 長】

高島 秀五郎

【設立年月日】

平成17年10月8日

【人 口】

3,327人(平成31年1月10日現在)

・世 帯 数 1,314世帯

・高齢者数(65歳以上) 1,181人

高齢化率35.5%

・児 童 数(小学1～6年生) 149人

地区社協活動紹介

南太閤山社会福祉協議会は、平成17年10月の設立以来、地域福祉の向上に努めてきました。

現在は、日常生活支援、地域福祉活動（ふれあい型）、地域支え合い（ケアネット活動）、地域福祉人材の発掘・養成など、幅広く活動しています。

なかでも、ふれあい型事業の「軽ミニスポーツ」、「もちつき大会」、「流しそうめん」には多くの高齢者や子どもたちが参加し、世代間交流で賑わいます。

最近の高齢化が進む中、ボランティア諸団体の協力をいただきながら、ケアネット活動と地域支え合い活動に重きを置いて活動しています。

特に3年目を迎えた地域支え合いネットワーク事業「ハートみなみ」には、多くの高齢者が参加され、100歳体操とその後の茶話会を楽しみ、和やかな雰囲気の中で交流されています。今後も参加者の健康維持を手助けし、ふれあいの場を提供していきます。

地区の特徴・歴史

富山・高岡新産業都市指定を契機に、昭和50年代初めから宅地造成された地域で、近くに公園や学校、医療機関、大型店舗があり、恵まれた環境にあります。

一方、近年の少子高齢化社会の進展に伴い、一人暮らし世帯や空き家が増えるなどの課題も抱えています。



Hello!

ぼらんていあ

ボランティアグループ活動紹介

収集の仲間

代表 前田 登美子

ベルマーク・使用済切手・書き損じハガキ等の収集、分別、集計を行い、各目的先へ送り届ける活動を支援しています。

大島小学校が取り組む「地域の先生とのふれあい活動」でベルマークの整理を一緒にしています。

児童の皆さんも区別作業を楽しみながら懸命に取り組んでいます。

◆ボランティアを始めたきっかけ

平成7年にベルマークなどを有効に活かしたいと同じ思い、関心をもっていったメンバーが集まって活動を始めました。月に1回集まり、みんなで楽しみながら行っています。

◆活動していてやりがいを感じる時

ベルマーク・切手等の収集後の結果を見る事が出来た時
平成30年度のショウワノートのベルマークキャンペーンで大島小学校が全国一位に輝きました。

◆最後にひとこと

一人ではできない事も、会員のみんなで作業を協力して行い、喜びを感じています。



▲古切手の仕分けの様子



射水市ファミリーサポートセンター

ファミサポ

Family Support

日々の活動紹介



お子さんの送迎・預かりなどをサポートしています!

ファミサポキャラバン



令和元年7月3日(水) 射水おおぞら子育て支援センター、7月10日(水) 海老江子育て支援センターにて「ファミサポキャラバン」を開催しました。手形スタンプのカニや折紙のエンゼルフィッシュで自分だけのオリジナル「おさかなうちわ」を作り、その後、花火をモチーフにした「お昼寝アート」のコーナーで、うちわを持って記念撮影をして楽しみました。たくさんのご参加、ご入会ありがとうございました。

ファミサポでは、**随時会員募集中**です。

☆**子育てを応援して欲しい方** (依頼会員) **協力会員大募集!!**
今、利用されなくてもいざという時の為に登録しませんか。

☆**子育てを応援したい方** (協力会員) **男性会員大歓迎!!**
子ども好きな協力会員さんを随時募集中です。空いている時間にできる範囲でお力をお貸しください。
※ご夫婦で協力会員になり、女性会員さんが忙しい夕方の依頼に対応してくださる男性会員さんが大活躍しておられます。

登録料は無料です

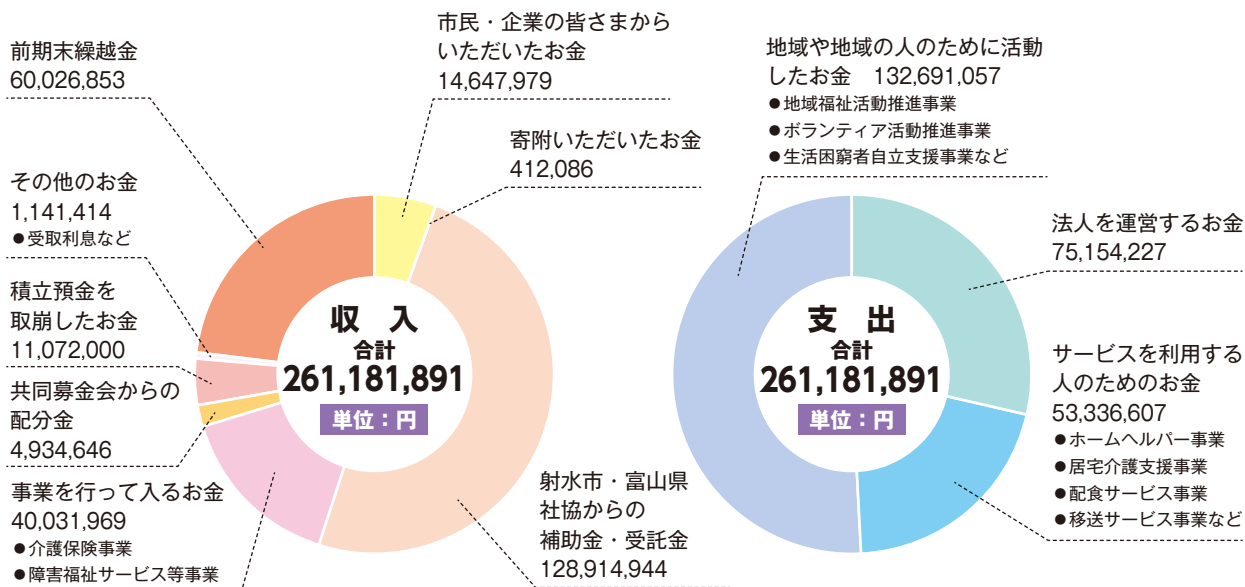
問合せ先

射水市ファミリーサポートセンター
大島社会福祉センター2階
射水市小島700番地1
☎52-7081 FAX52-5852
E-mail: ifss@imizushakyo.jp

市民一人ひとりが、安心して暮らすことのできる地域を目指し、「射水市地域福祉活動計画」に基づき、「みんなが参加する（地域づくり）・みんなで見守る（支援体制）・みんなでつながり支え合う（連携強化）」を意識し事業の展開に努めました。



◆地域づくり ◎地域福祉講座

収
支
決
算令和元年度
赤い羽根共同募金助成団体が決まりました

6月12日(水)、大島社会福祉センターにおいて令和元年度赤い羽根共同募金決定書交付式が行われました。

14団体・35事業に総額7,748,000円が助成されました。

射水市共同募金委員会の高島 秀五郎会長から助成団体の代表者へそれぞれ決定書が手渡され、射水市手をつなぐ育成会の中道臣子副会長より謝辞がありました。

団体名	事業名	助成額
射水市児童クラブ連合会	第14回射水市児童クラブ大会	94,000
	平成31年度海の生活体験交流会	20,000
	第14回射水市児童クラブ「オセロ・将棋大会」	10,000
射水市肢体不自由児者父母の会	肢体不自由児者激励会	75,000
	十楽市参加	50,000
射水市母子寡婦福祉連合会	母子学級（クリスマス会）	102,000
	親と子のつどい（ボウリング大会）	20,000
	寡婦学習会	50,000
射水市母親クラブ連絡協議会	触れ合い自然体験	140,000
射水市聴覚障害者協会	社会教養教室開催事業	94,000
	射水市手話学習会	50,000
	点字講習会	47,000
射水市視覚障害者協会	点字競技会	38,000
	サウンド・テーブル・テニス事業	84,000
	錬成会	50,000
射水市身体障害者協会	会員と家族の錬成会（交流会、講演）	75,000
	ボウリング大会	50,000
射水市手をつなぐ育成会	親子研修会	94,000
	調理実習	47,000
	ふれあい交流大会	50,000

団体名	事業名	助成額
射水市老人クラブ連合会	ふれあいスポーツ交流事業	187,000
	女性部研修会	50,000
かたかご会	子育て支援・異世代支援事業	112,000
射水市更生保護女性会	地区でのミニ集会・子育て支援活動	42,000
射水保護区射水保護司会	社会を明るくする運動推進事業	116,000
射水市民生委員児童委員協議会	全委員研修会（主任児童委員部会、高齢者福祉部会、児童福祉部会、障がい者福祉部会活動報告）	247,000
	民生委員・児童委員活動PR事業	50,000
射水市社会福祉協議会	社会福祉大会開催事業	785,000
	機関紙発行事業	2,005,000
	子育て応援事業	300,000
	地域福祉講座	434,000
	地域子育て支援事業	1,500,000
	地区社協連協活動支援事業	400,000
	地域公益活動推進事業	200,000
	災害救援ボランティア活動支援事業	80,000

転

ばぬ先のアドバイス

プラス
+

9月21日は『世界アルツハイマーデー』



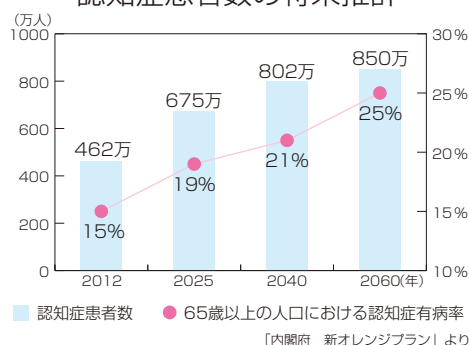
1994年「国際アルツハイマー病協会」は、世界保健機関と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心にアルツハイマー病の啓発を実施しています。最近では予防法や治療法の研究が進み、早い段階で見つけて治療すれば進行を防ぐことができるようになっていきます。

認知症の最大危険因子は加齢です。

今後高齢者

の急増とともに認知症患者も増加し、2025年には675万人、高齢者の5人に1人が認知症になるとされています。

認知症患者数の将来推計



認知症の早期発見

家族が客観的に見て、これらの項目で3つ以上当てはまる場合は認知症の疑いがあります。

- ☐ 同じことを何回も話したり、たずねたりする。
- ☐ 服装などの身なりに無頓着になった。
- ☐ 水道栓やドアを閉め忘れたり、後片付けがきちんとできなくなった。
- ☐ 旅行などの計画が立てられなくなった。
- ☐ 複雑な話が理解できない。
- ☐ 前よりも怒りっぽくなったり、疑い深くなった。
- ☐ 出来事の前後関係がわからなくなった。
- ☐ 薬を飲み忘れる。
- ☐ 同時に二つの作業を行うと、一つを忘れる。
- ☐ 家事や以前できていた作業に手間取る。
- ☐ 興味が薄れ、意欲がなくなり、趣味活動などをやめてしまった。

群馬大学大学院保健学研究科 山口晴保氏による

認知機能低下の予防のカギは
“体を動かし”
同時に “頭を使う” こと

実践1

歩く+しりとり

例えば「しりとり」をしながら歩いてみよう

脳トレウオーキング

歩きながら、同時に頭を使う。

実践2

お楽しみ自分時間をすごす

ときめきながら好きなことをする。食事会・旅行・将棋・楽器演奏・園芸など



心配事があれば気軽に相談ください…

問合せ先

射水市大島在宅介護支援センター

☎51-6010 (射水市大島北野33 特養すずらん内)

就任のごあいさつ



社会福祉法人
射水市社会福祉協議会

会長 門田 晋

この度 六月の理事会において、会長に再任
いたし、一言 ご挨拶を申し上げます。

この五月より「平成」から「令和」へと元号
が変わり、令和には「希望に満ちた新しい時代
を切り開く」という願いが込められているとさ
れ、再任にあたり、射水市民からの本協議会へ
の期待とあわせ、その職責の重大性を痛感いた
しております。

さて、近年、私たちの生活を取り巻く環境
は、大きく変わり福祉ニーズも多様化・複雑化
しております。このような中、本協議会では、
基本理念にある「互いに助け合い、支え合う街
射水」の実現に向けた取り組みを進めていると
ころであります。来春には、新複合施設（旧小
杉社会福祉会館）の落成が予定され、いよいよ
「福祉のある街づくり」を展開する中核的な民
間社会福祉事業の推進をまい進していく所存で
あります。

この重要な転換期を迎え、気持ちを新に、そ
の使命を十分に発揮できるよう新役職員が一丸
となって努力してまいりますので、市民の皆さ
まのご理解・ご協力・ご支援を賜りますようお願い
申し上げます。

射水市社会福祉協議会役員・評議員・苦情 解決第三者委員の紹介

任期満了による役員等の改選があり、次の方々
が就任されました。（敬称略）

【理事・監事】

会長	門田 晋
副会長	高島秀五郎
副会長	中川由紀子
常務理事	稲垣 和成
理事	佐野 幸弘
	島倉 松雄
	坂井 喜彦
	佐野 武彦
	宮村 健壯
	青山 昇信
	久々江除作
	義本 幸子
	松浦 佳紀
	板山 浩一
	梅本 清一
監事	西島 剛
	清水 久義

【評議員】

寺越 眸	山本 雅子
佐々木征夫	沖 和美
宮垣 純吉	吉久マズミ
石黒 勝久	吉田 逸子
二口 憲夫	竹苗 典子
森田ひとみ	尾上 明子
竹島 哲二	新中 孝子
串田 伸男	小井 孝子
塚本 廣文	鈴木 敬子
炭谷 義昌	成田 廣昭
五十嵐 清	宮内 茂夫
山崎 京子	串田美代志
中道 臣子	宮本 英喜
長原 和美	渡邊 昇信
瀧田 秀成	糸岡 弘美
西島 剛	川腰喜久雄

【苦情解決第三者委員】

西島 剛 川腰喜久雄



今回は小杉北民生委員児童委員協議会
の日頃の活動を紹介します。

私たちは、大江地区6名と三ヶ地区
9名の15名で活動しています。

小杉北民生委員児童委員協議会

会長 林 晃

活動の中心は地域振興会・社会福
祉協議会と連携し、地域福祉の主力
メンバーとして活動に取り組んでいま
す。特に高齢者の方々が増加するな
かで、活動の中心は、高齢者対象の
事業が中心となることが多いです。

主な活動として、

- ①ひとり暮らし高齢者や高齢者の
みの世帯の方々への支援活動
 - ②いのちのバトン登録及び確認作
業、避難行動要支援者登録への
取組
 - ③地域内保育園児との交流や学童
保育への協力等
- などを行っています。

射水市・射水青年会議所と 災害協定を締結

5月15日に射水市と射水青年会議所と射水市社会福祉協議会の三者で「災害時における協力に関する協定」を締結しました。調印式には夏野元志市長、青年会議所の中村長治理事長、本会会長が出席し、行われました。

今回の協定締結は、射水青年会議所会員が昨年発生した西日本豪雨の被災地に、災害救援ボランティアとして入り、自分たちのまちに災害が起こったとき自分たちに何が出来るかと考えたことがきっかけで実現したものです。

本会では、この協定を受け、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練や災害支援ボランティア研修会を射水青年会議所と共同で行うことを予定しています。



H30年9月▶
災害ボランティアセンター
立ち上げ訓練



▲ H28年8月 熊本地震での活動

手話奉仕員養成講習会 「入門課程」

聴覚障がい者への理解を深め、手話で日常会話を行うために必要な手話語彙や表現技術を学び、手話でコミュニケーションをする楽しさを習得します。

- 日 時** 令和元年10月2日～令和2年2月26日
(毎週水曜日)
午後7時20分～午後8時50分
- 内 容** ①聴覚障害者の基礎知識 ②手話の基礎知識
③聴覚障害者の生活 ④手話の学習
- 場 所** 大島社会福祉センター(射水市小島700番地1)
- 受 講 料** 無料
※テキスト代3,240円(税込)は受講者負担
- 対 象 者** 初めて手話を学ぶ、市内在住または市内在勤の方
(中学生・高校生は保護者の同意が必要です)
- 定 員** 20名(※先着順)
- 申込締切** 8月15日(木) 午後5時まで

点訳講習会 「初級課程」

視覚に障がいを持つ人に、図書などを点訳する講習会を開催します。点字盤だけでなく、パソコンを使った点訳についても学びます。(パソコンを使ったことのない方でもOK!)

- 日 時** 9月7日～10月26日(毎週土曜日)
午後1時30分～午後3時30分
- 内 容** ①点訳について ②拡大字について
③パソコン点訳 ④視覚障がい者の方のお話
⑤ガイドヘルプ(誘導の仕方)
- 場 所** 新湊交流会館(射水市三日曾根9番18号)
- 受 講 料** 無料(筆記用具持参。期間中、点字盤貸与)
- 対 象 者** 初めて点訳を学ぶ、市内在住または市内在勤の方
(中学生・高校生は保護者の同意が必要です)
- 定 員** 10名(※先着順)
- 申込締切** 8月21日(水)

みんなのきもち ありがとう

皆さまより福祉のために
ご寄付いただきました。
お寄せいただいた浄財は、各種社会福祉事業に
活用させていただきます。

【社会福祉事業】	配食サービスグループ	
	新湊地区代表者会	4,181円
【善意銀行】	四日曾根獅子方連中	5,000円
	東町本町獅子舞保存会	10,000円
	南長徳寺青年団	10,000円
	西奈呉獅子舞保存会	5,000円
	桜町獅子方若連中	5,000円
	堀岡西町獅子舞保存会	5,000円
	北長徳寺青年団	10,000円



音楽レクリエーション ボランティア養成講座

地域ふれあいサロンや福祉施設などで、音楽に合わせて参加者や利用者と一緒に歌い、身体を動かす活動をするボランティアを養成します。

- 日 時** 第1回 9月25日(水)
第2回 10月2日(水)
第3回 10月16日(水)
午後1時30分～午後3時30分(3回とも)
- 場 所** 大島社会福祉センター(射水市小島700番地1)
- 講 師** 日本音楽療法学会認定音楽療法士 増田 羊子氏
- 受 講 料** 無料
- 定 員** 20名(全3回出席できる方)
- 申込締切** 9月4日(水)

上記の講習会・講座に関する問合せ・申込先

地域福祉課 ☎ 52-5190 FAX 52-5852

第14回 射水市社会福祉大会

入場無料

日時 令和元年10月9日(水) 午後1時30分～午後4時30分
会場 アイザック小杉文化ホールラポール

内容 式典 表彰状・感謝状
議事 大会宣言、大会決議
寸劇 小杉爆笑劇団

講演 「ひきこもり支援は社会全体の課題～総社市におけるひきこもり支援の取り組み～」

講師 社会福祉法人総社市社会福祉協議会 常務理事・事務局長 佐野 裕二 氏



問合せ先 総務課 ☎52-5010

職員募集のお知らせ

職種	人員	受験資格
介護支援専門員	若干名	昭和55年4月2日以降に生まれた人で、介護支援専門員の資格を有する人 ※上記資格のほか、普通自動車運転免許証所有者又は採用までに取得可能な人
事務職	若干名	昭和60年4月2日以降に生まれた人で、社会福祉士の資格を有する人、もしくは社会福祉士受験資格を有する人(受講している人も可) ※上記資格のほか、普通自動車運転免許証所有者又は採用までに取得可能な人

試験・選考案内(申込書)は本会ホームページよりダウンロード及び総務課窓口で配布、郵送対応

採用予定 令和2年4月
試験日程 第1次試験 8月28日(水)
(作文試験、適性検査)
第2次試験 8月29日(木)
(面接試験等)
申込締切 8月16日(金) 消印有効
申込・問合せ先 総務課 ☎52-5010

ホームヘルパー募集

空いている時間に、高齢者や障害者宅を訪問して、スムーズな日常生活を送れるよう介護や家事援助サービスをお手伝いしていただませんか

資格要件 介護職員初任者研修等修了者
(旧ホームヘルパー2級課程含)
普通自動車運転免許資格を有する者
勤務時間 原則として午前7時から午後10までの時間
賃金 生活援助・身体介護(時間給・1時間当たり単価)
1,100円(月～金曜日の午前8時30分～午後5時15分)
1,375円(月～金曜日の午前7時～午前8時30分
及び午後5時15分～午後10時)
1,485円(休日の午前7時～午後10時)

●不明な点などがありましたら、お気軽に問い合わせしてください。

申込・問合せ先

射水市社協ヘルパーステーション
☎82-8455



プレゼントクイズ

○の中に言葉を入れてください。

クイズに答えて正解者の中から抽選でプレゼント!



クイズ 国際アルツハイマー病協会が制定した、認知症理解のための日(毎年9月21日)をなんという?

「世界○○○○○○○○デー」

(ヒントはP7 『転ばぬ先のアドバイス+』にあります)

ハガキ、又はFAXにクイズの答え、郵便番号、住所、電話番号、氏名、年齢、性別、本誌の感想(良かったコーナー、改善点など)、その他ご意見などを記載し下記まで。

あて先 〒939-0274 射水市小島700番地1
(福)射水市社会福祉協議会「福祉いみず プレゼントクイズ係」
FAX 0766-52-6190

応募締切 令和元年9月3日(火) 必着
※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

編集後記

相撲の朝乃山関の目覚しい活躍をはじめ、バスケットボールの八村選手の快挙などで富山が大いに盛り上がり、なんだか県民としてうれしく思います。

また、来年に迫る東京オリンピックなど話題に事欠かないスポーツ業界ですが、私自身も健康のために運動を始めました。飽き性のため、無理なく続けることを目標にしていますがゆくゆくは富山マラソンに出場できたら…と思ったり。もし会場でお会いした際はぜひ声をかけてくださいね!

次号▶No.56 令和元年11月発行